

Kenko

ケンコー デジタルカメラ

KC-AF05

取扱説明書



このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。

早見表

セット内容  ▶11	各部の名称  ▶12	モード切替  ▶15	充電電池の 取り付け  ▶16	充電電池の充電  ▶17
電源の オン／オフ  ▶20	microSD/SDXC メモリーカードを使用する  ▶21	microSD メモリーカード を取り付ける  ▶24		
microSD メモリーカード のフォーマット  Format ▶26	日時の設定  31 ▶28	静止画の撮影  ▶32	ズーム撮影  ▶33	
内蔵 LED ライト  ▶34	セルフタイマー  ▶35	画像サイズ  12M ▶39	露出  ▶43	ホワイト バランス  ▶44

早見表

ISO 感度  ▶49	手振れ軽減  ▶50	動画の撮影  ▶54	ビデオサイズ  ▶57	ビデオ  ▶58
動き検出  ▶59	タイムラプス 設定  ▶60	タイムラプス ビデオ  ▶64	インターバル 撮影  ▶66	スロー モーション  ▶68
ファイルの 再生  ▶70	動画ファイル の再生  ▶76	設定メニュー  ▶81	パソコンとの 接続  ▶86	PC Camera  ▶89
故障かなと 思ったら  ▶90	記録可能枚数 / 時間の目安  ▶92	仕様  ▶94		



目次

はじめに	07	日時の設定	28
安全上のご注意	08	言語の設定	30
カメラの紹介	11	静止画モード	31
セット内容	11	静止画撮影モードの液晶モニター表示	31
各部の名称	12	静止画の撮影	32
ボタンの機能	13	ズーム撮影	33
LEDインジケータ表示	15	内蔵LEDライトの設定	34
モードの変更	15	セルフタイマー	35
ご使用の前に	16	連写モード	36
充電電池の取り付け	16	静止画撮影メニュー	37
充電電池の充電	17	モード設定	38
リチウムイオン充電電池に関する安全上のご注意	19	画像サイズ	39
電源のオン／オフ	20	美肌	40
ストラップの取り付け	20	連写モード	41
microSDHC/SDXCメモリーカードを使用する	21	セルフタイマー	42
microSDメモリーカードを使用する前に	22	露出	43
ファイル名／ディレクトリ名を変更しない	23	ホワイトバランス	44
microSDメモリーカードを取り付ける	24	画質	45
microSDメモリーカードのフォーマット	26	シャープネス	46
		効果	47
		ISO感度	49



目次

手ぶれ軽減	50
顔検出	51
スマイルショット	52

動画モード 53

動画撮影モードの液晶モニター表示	53
動画の撮影	54
ズーム撮影	55
内蔵LEDライト撮影	55
動画撮影メニュー	56
モード設定	56
ビデオサイズ	57
ビデオ	58
動き検出	59
タイムラプス設定	60
画像サイズの設定	61
時間の設定	62
間隔の設定	63
タイムラプスビデオ	64
インターバル撮影	66
スローモーション	68
美肌	69

露出	69
ホワイトバランス	69
シャープネス	69
効果	69
ISO感度	69

再生モード 70

ファイルの再生	70
静止画再生モードの液晶モニター表示	71
再生ズーム	72
サムネイル表示	73
クイック消去	74
動画再生モードの液晶モニター表示	75
動画ファイルの再生	76
クイック消去	76
再生メニュー	77
削除	78
保護	79
スライドショー	80



目次

設定モード	81	故障かな?と思ったら	90
設定メニュー	81	記録可能枚数／時間の目安	92
言語	81	静止画	92
日時	81	動画	93
省電力	82	仕様	94
操作音	83	仕様	94
フリッカー低減	84	必要なパソコン動作環境	96
フォーマット	85		
リセット	85		
パソコンとの接続	86	保証規定	97
パソコンとの接続	86		
モード設定	86		
MSDC	87		
データの保存	87		
転送時のご注意	88		
ファイル名について	88		
PC Camera	89		



はじめに ご使用前にお読みください。

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書と保証規定をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られる所に大切に保管してください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方が書かれています。
本書をよくお読みの上、製品を正しく安全にお使いください。
本製品をご使用中に生じたいかなる二次的損害についても補償いたしかねます。

- 結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。
- 本製品の使用および故障により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。
- カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。液晶パネルメーカーの保証値となります。また記録される画像には影響されません。
- 本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本取扱説明書の図、写真の画面などは説明のために作成したものです。あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複製することは、個人で楽しめる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。



安全上のご注意 必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。
本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

 危険	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。
 警告	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性、または物的損害が生じる可能性が想定される内容です。 ※物的損害とは、家屋・家財に関わる拡大損害を示します。

	 〇記号は禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は〇の中や近くに文章や絵で示します。
	 ❶記号は強制(必ずやること)を示します。 具体的な強制内容は、❶の中や近くに文章や絵で示します。左図は一般的な強制を示します。

危険

	可燃ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投下などを行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。 本製品を高温の場所（真夏の車内、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。
--	--



安全上のご注意 必ずお読みください。

警告



- 目に深刻な損害を与える恐れがありますので、至近距離で内蔵 LED ライトを発光させないでください。
- 本製品を歩行中、または運転中に絶対に使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手で本製品を触らないでください。
- 本製品の分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。
- ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
- ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。



- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲に本製品を放置しないでください。
- 本製品に何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。



安全上のご注意 必ずお読みください。

注意



- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火の近く
 - 湿ったところ
 - 振動の激しい場所
 - 温度・湿度の変化が激しい場所
 - 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
- 車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。
- 本製品を落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- ケーブルやストラップ等を持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。
- 平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所に置くと転倒、故障、事故の恐れがあります。
- 故障防止のために、以下のことは避けてください。
 - 強い衝撃や落下
 - 風呂場などの湿気の多いところや、倉庫などほこりの多いところでの使用
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因となります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。

その他のご注意

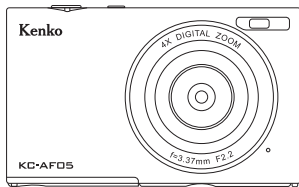
- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するとき、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数、撮影時間が減少する場合があります。
- 本製品のレンズや液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニングクロスで拭き取ってください。汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。



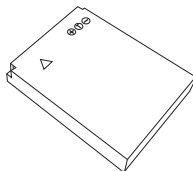
カメラの紹介

📺 セット内容

以下のセット内容が揃っているかご確認ください。万一、不足しているものがあれば、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。



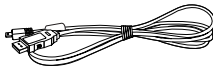
カメラ本体



リチウムイオン充電電池



ストラップ



USBケーブル
(Type-A to Type-C)



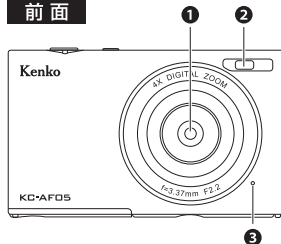
取扱説明書(本書)



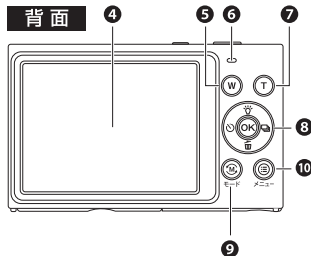
カメラの紹介

各部の名称

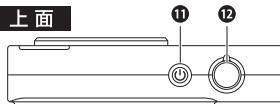
前面



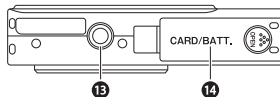
背面



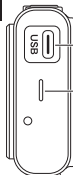
上面



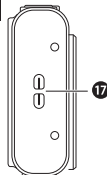
下面



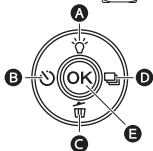
左側面



右側面



マルチ選択ボタン



- ① レンズ
- ② 内蔵LEDライト
- ③ マイク
- ④ 液晶モニター
- ⑤ ズームボタン(W)
- ⑥ LEDインジケータ
- ⑦ ズームボタン(T)
- ⑧ マルチ選択ボタン
- ⑨ モードボタン
- ⑩ メニューボタン
- ⑪ 電源ボタン
- ⑫ シャッターボタン
- ⑬ 三脚取付穴
- ⑭ 電池/microSDHCメモリーカード室カバー
- ⑮ Type-Cポート
- ⑯ スピーカー
- ⑰ ストラップホール
- A 上ボタン
- B 左ボタン
- C 下ボタン
- D 右ボタン
- E OKボタン



カメラの紹介

▶ ボタンの機能

ボタン	名 称	機 能
	マルチ選択 ボタン	上ボタン : 各項目・設定時に上へ移動します。 撮影時、内蔵LEDライトを点灯／消灯します。 動画再生時、早送り再生します。 下ボタン : 各項目・設定時に下へ移動します。 再生時、ファイルのクイック消去の設定をします。 左ボタン : 各項目・設定時に左へ移動します。 静止画撮影時、セルフタイマーの設定をします。 右ボタン : 各項目・設定時に右へ移動します。 静止画撮影時、1枚撮影／連写の設定をします。 OKボタン : 設定モード時に項目を決定します。
	電源ボタン	電源をオン／オフします。



カメラの紹介

ボタン	名 称	機 能
	シャッターボタン	押すと静止画／動画を撮影します。 動画再生モード時、押すと再生を開始します。 再度押すと再生を終了します。
	ズームボタン	静止画・動画撮影時にTボタンを押すとズームイン(拡大)、 Wボタンを押すとズームアウト(縮小)します。 動画再生時にTボタンを押すと音量が大きくなります。 Wボタンを押すと音量が小さくなります。 静止画再生時にTボタンを押すと拡大表示します。 Wボタンを押すと縮小し、最後は9分割サムネイル表示になります。
	モードボタン	モードを変更します。
	メニューボタン	各項目・設定を行います。



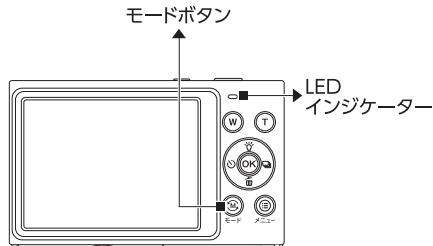
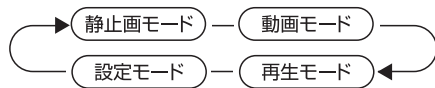
カメラの紹介

LEDインジケータ表示

表示灯	色	説 明
LEDインジケータ	青色の点灯	起動時／電源オフ時に1度点灯します。
	青色の点滅	セルフタイマー作動中です。 動画撮影中です。
	赤色の点灯	充電中です。

モードの変更

モードボタンを押すごとにモードが切り替わります。
静止画モード／動画モード／再生モード／設定モードに
切り替わります。





ご使用の前に

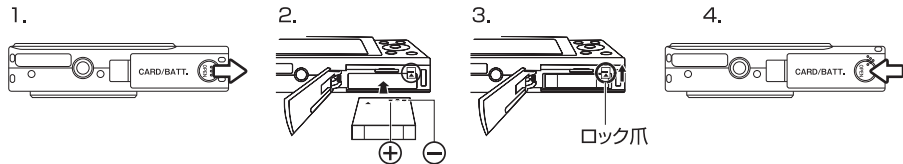
充電電池の取り付け

カメラに付属のリチウムイオン充電電池をセットします。

カメラに付属している充電電池以外は使用しないでください。

電池の取り付けは、ここに示す方法で行ってください。電池の取り付け方法が正しくないと、カメラが破損したり、火災の原因になることもあります。

1. カメラ底面の電池・microSDHCメモリーカード室カバーを ➡ の方向にスライドさせて開きます。
2. 図を参考に ⊕ ⊖ 方向を確認して、リチウムイオン充電電池をセットします。
3. 充電電池を取り外す場合は、ロック爪を上(液晶モニター側)へスライドすると充電電池が少し飛び出します。
4. 電池室蓋を閉じ、➡ の方向にスライドしてカチッと音がするまで閉じます。



- ◆ 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- ◆ 電池は ⊕ ⊖ 方向に注意し、接点が右奥になるように正しくセットしてください。



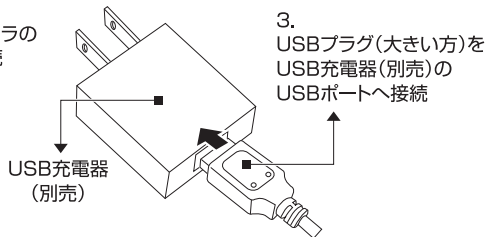
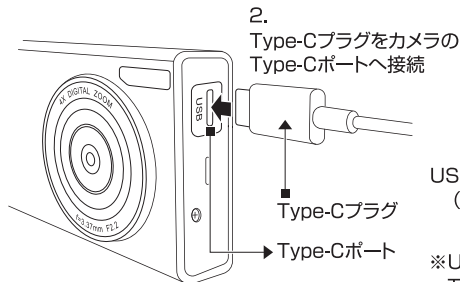
ご使用の前に

充電電池の充電

充電電池の充電は、付属のUSBケーブルを使用して行います。
カメラに充電電池を取り付けます。P.16「充電電池の取り付け」をご覧ください。

1. カメラの電源をオフにします。
2. 付属のUSBケーブルのType-Cプラグ(小さい方)をカメラのType-Cポートに接続します。
3. もう一方のUSBプラグ(大きい方)を、
USB充電器(別売・Type-A出力、1ポートDC5V 2A以上)のUSBポートに接続します。
4. カメラの赤色LEDランプが点灯し、充電が行われます。充電が完了すると消灯します。

●次ページへ続く



※USB ケーブルは付属のもの以外使用しないでください。
Type-C to Type-C ケーブルでは充電できません。



ご使用前に

●前ページより続き



- 電池残量については、液晶画面上のバッテリーアイコンに表示されます。



電池の残量は充分です。



充電してください。

- 電池残量表示は目安になります。
- 電池をカメラの中に入れたまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。
カメラを長期間(およそ1ヶ月以上)使用しないときは電池を取り出してください。
- 電池は気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
カメラを長時間使用すると電池およびカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。
- ご購入時、電池は充電されておりませんので、はじめてご使用になる時はフル充電をしてからお使いください。



ご使用の前に

📷 リチウムイオン充電機に関する安全上の注意 (対象:リチウムイオン充電機使用カメラ)



警告 付属のリチウムイオン充電機をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①初回使用時はフル充電してください。
- ②ショート、分解、加熱、充電(+)、(-)の逆方向のセットはしないでください。
- ③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。
電解液が、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④リチウムイオン充電機をカメラから取り出して保管・持ち運びの場合、安全のためビニール袋・プラスチックケース等に入れてください。
- ⑤リサイクルのお願い



Li-ion00

不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで
充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉

詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。

・ホームページ <https://www.baj.or.jp/>

● 使用済み充電式電池の取扱注意事項

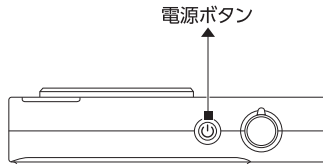
- ー プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- ー 皮覆をはがさないでください。
- ー 分解しないでください。



ご使用の前に

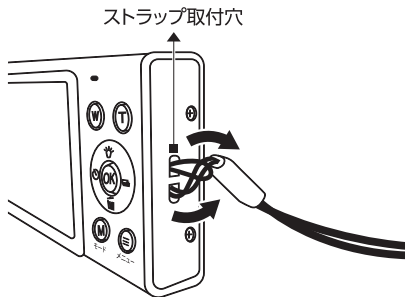
電源のオン／オフ

電源ボタンを約1秒押すと電源がオンになります。
液晶モニターが点灯します。
再度電源ボタンを約1秒押すと電源がオフになり
液晶モニターが消灯します。



ストラップの取り付け

右の図を参考にして、
ストラップ取付穴に付属のストラップを取り付けてください。





ご使用の前に

microSDHC/SDXCメモリーカード(別売)を使用する

(以下microSDメモリーカードと表記します)

本製品で撮影した画像は、microSDメモリーカードに記録されます。

microSDメモリーカード(別売)を電池室カバー内のmicroSD/SDHCカードスロットにセットしてください。

動画・静止画撮影をすると自動的にmicroSDメモリーカードに記録されます。



図はmicroSDメモリーカードのイメージ図です。

- ◆ このカメラに使用できるmicroSDメモリーカードの仕様は、microSDHCメモリーカード：4～32 GB(別売) microSDXCメモリーカード：64～128GB(別売)までです。
その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。



ご使用の前に

microSDメモリーカードを使用する前に



- ◆ 新しいmicroSDメモリーカードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。
- ◆ microSDメモリーカードをセットすると、カメラはmicroSDメモリーカードを認識します。
- ◆ この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.7～10に記載されていますので、必ずよくお読みください。
 - パソコンに接続、データ転送中や、撮影／再生中にmicroSDメモリーカードを引き抜かない
パソコンにカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にmicroSDメモリーカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、microSDメモリーカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。
 - 本製品にはmicroSDメモリーカードをフォーマット(初期化)する機能がついています。
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。
- ◆ 次ページの注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。



ご使用の前に

》ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

パソコンでmicroSDメモリーカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。



- microSDメモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、microSDメモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動などの障害が起こる恐れがあります。
- microSDメモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われる事があります。記録されたデータの破損・消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- microSDメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。（フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承くださいの上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。）
- 電極部（金色の金属部分）が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで軽く拭き取ってください。



ご使用の前に

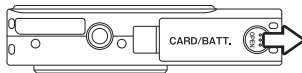
microSDメモリーカードを取り付ける

microSDメモリーカードはカメラ下面のmicroSDHC/SDXCメモリーカードスロットにセットします。

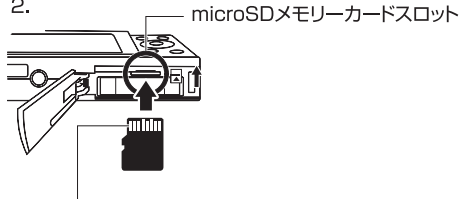
1. 電池室蓋を開けます。P.16「充電電池の取り付け」をご覧ください。
2. microSDメモリーカードの接触面が(液晶モニター側)になるようにして、microSDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
3. microSDメモリーカードを取り外す時は、microSDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。microSDメモリーカードが少し飛び出ます。

●次ページへ続く

1.



2.



取付時は、microSDメモリーカードの接触面が本機の背面側になるように挿入します。
取り外す時は、microSDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。
microSDメモリーカードが少し飛び出ます。



ご使用の前に

●前ページより続き



- 新しいmicroSDメモリーカードを使用される際は、あらかじめmicroSDメモリーカードのフォーマット(P.26参照)をしてください。
- 撮影画像に付けられるファイル名(DSCFXXXX)は、microSDメモリーカード内の画像を消去しても、連続してカウントされます。番号をリセットする場合は、カメラでフォーマット(P.26参照)してください。



- ◆ 差し込みにくい時は、挿入方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- ◆ microSDメモリーカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- ◆ すべてのmicroSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。
- ◆ 他のカメラなどのファイルが保存されているmicroSDメモリーカードをセットすると、誤作動を起す場合があります。



ご使用の前に

microSDメモリーカードのフォーマット

microSDメモリーカードをフォーマット(初期化)する機能です。

- ◆ microSDメモリーカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- ◆ フォーマットを行うとmicroSDメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- ◆ microSDメモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。)
- ◆ 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
- ◆ フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。

●次ページへ続く



ご使用の前に

●前ページより続き

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタン (M) を3回押し、設定モードにします。
マルチ選択ボタン(以降は、マルチ選択ボタンを省略して上または下ボタン、右または左ボタンと記載)の右または左ボタンを押して、「フォーマット」を選択し、OKボタンを押します。
3. 右または左ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
はい : microSDメモリーカードのフォーマットをします。
いいえ : フォーマットしません。
4. 3項で「はい」を選択した場合、再度確認画面が表示されます。
はい : microSDメモリーカードのフォーマットをします。
いいえ : フォーマットしません。
5. OKボタンを押すと設定メニューに戻ります。
6. モードボタンを押すと撮影画面に戻ります。

2.



3.



- ◆ フォーマットすると全てのデータが削除されますのでご注意ください。
プロテクト(保護)されたデータも削除されます。
- ◆ 削除されたデータ(画像など)は元に戻りませんのでご注意ください。



ご使用の前に

日時の設定

カメラをご使用の前に、日付表示と日時の設定を行います。

1. 電源をオンにします。
2. モードボタン  を押し、設定モードにします。
3. 右または左ボタンを押して、「日時」を選択し、OKボタンを押します。
4. 右または左ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

オン：撮影時、及び記録ファイルに日時が表示されます。

オフ：日付を表示しません。

日時：日付の設定を行います。

●次ページへ続く

2.



4.





ご使用の前に

言語の設定 (初期設定: 日本語)

カメラをご使用の前に、言語の設定を行います。

1. 電源をオンにします。
2. モードボタン  を押し、設定モードにします。
3. 右または左ボタンを押して、「言語」を選択し、OKボタンを押します。
4. 上／下または右／左ボタンを押して、使用する言語を選択し、OKボタンを押して決定します。
5. OKボタンを押すと設定メニューに戻ります。
6. モードボタンを押すと撮影画面に戻ります。

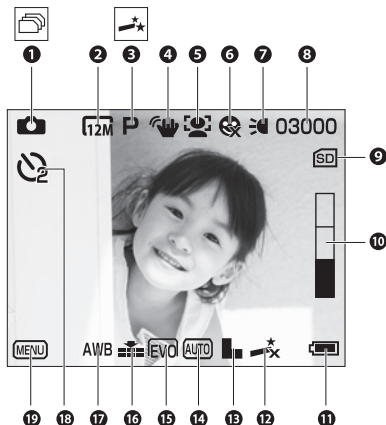


- 14の言語に対応しています。
- リセットすると言語は日本語が表示されます。



静止画モード

静止画撮影モードの 液晶モニター表示



1	現在の撮影モード(静止画モード)を表示します。
2	連写 連写モードを選択していることを表示しています。P.36参照
3	12M 画像サイズ 現在の静止画サイズ設定を表示しています。P.39参照
4	P モード設定 現在の撮影モードを表示します。P.38参照
5	★ 美肌 美肌モードを選択していることを表示しています。P.40参照
6	手振れ軽減 手振れ軽減の有効／無効を表示しています。P.50参照
7	顔検出 顔検出の有効／無効を表示しています。P.51参照
8	スマイルショット スマイルショットを選択していることを表示しています。P.52参照
9	内蔵LEDライト 内蔵LEDライトが点灯されていることを表示しています。P.34参照
10	03000 静止画記録可能枚数
11	SD メモリーカード挿入を表示しています。P.24参照
12	ズームインジケータ ズーム領域を表示します。P.33参照
13	電池残容量 電池残量を表示します。P.18参照
14	★ 効果 撮影する静止画に各種の効果を加えます。P.47参照
15	L シャープネス 撮影画像のシャープネス設定を表示しています。P.46参照
16	AUTO ISO 現在のISO感度を表示しています。P.49参照
17	EVO 露出 現在の露出補正設定を表示しています。P.43参照
18	画質 現在の静止画の画質設定を表示しています。P.45参照
19	AWB ホワイトバランス 現在のホワイトバランス設定を表示しています。P.44参照
20	セルフタイマー セルフタイマーを選択していることを表示しています。P.35参照
21	MENU メニューアイコン

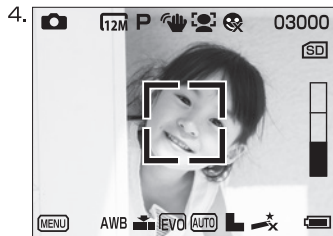


静止画モード

静止画の撮影

静止画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押して「静止画モード 」にします。
3. 液晶モニターで被写体を捉えます。
必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
4. カメラをしっかりと構えてシャッターボタンを半押しします。
オートフォーカス機能で液晶モニター中央の  アイコンが黄色から緑色に変わるとピントが合います。
5. シャッターボタンを完全に押し込んで撮影します。



- 被写体周辺の光量が不足している場合、手ぶれにご注意ください。
内蔵LEDライトまたは三脚などの使用をおすすめします。



静止画モード

ズーム撮影

本製品は4倍のデジタルズームが搭載されています。

ズームボタンのTボタンを押すと、ズームイン(拡大)します。

ズームボタンのWボタンを押すと、ズームアウト(縮小)します。



- ズームの倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。



静止画モード

内蔵LEDライトの設定

内蔵LEDライトを設定します。

上ボタンを押すと内蔵LEDライトが点灯します。
再度、上ボタンを押すと内蔵LEDライトが消灯します。



内蔵LEDライト点灯アイコン



- 電源をオフにすると、内蔵LEDライトは消灯します。



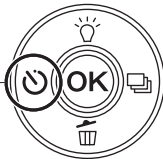
静止画モード

📷 セルフタイマー (初期設定: オフ)

セルフタイマーを設定します。

1. 左ボタンを押して、セルフタイマーモードに切り替えます。
ボタンを押すごとに設定が切り替わります。
2秒 : シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影します。
5秒 : シャッターボタンを押してから約5秒後に撮影します。
10秒 : シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影します。
オフ : セルフタイマーを設定しません。
2. シャッターを押すとLEDインジケーターが点滅し、撮影します。

左ボタン／セルフタイマー



セルフタイマーアイコン



- モード切替えを行うと設定はオフになります。
- 電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

▶ 連写モード（初期設定：オフ）

1枚撮影と連写撮影（約1秒間に3枚撮影）を設定します。

1. 右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

1枚：1コマ撮影に設定します。

連写：連写モードに設定します。

右ボタン／連写モード



連写モードアイコン



- モード切替えを行うと設定はオフになります。
- 電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。
- 静止画のみの機能です。

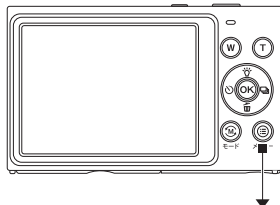


静止画モード

静止画撮影メニュー

静止画撮影時の設定をします。

1. メニューボタン(Ⓜ)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押しして項目を選択し、OKボタンを押して、サブメニューを表示します。
3. 上／下または右／左ボタンを押ししていずれかを選択し、OKボタンを押します。
4. 静止画撮影モードに戻ります。



メニューボタン





静止画モード

モード設定 (初期設定: オート)

静止画撮影モードを選択します。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「モード設定」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／下または右／左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オート : 本機の機能をフルに活用します。

夜景 : 暗い場所での撮影に適しています。内蔵LEDが点灯します。三脚などの使用をおすすめします。

ポートレート: 人物(ポートレート)の撮影に適しています。

風景 : 距離を無限遠に設定し、風景をくっきり鮮やかに撮影します。

逆光 : 逆光撮影で暗く写るのを防ぎます。

スポーツ : 動きの速い被写体の撮影に適しています。

パーティー: 室内での結婚式やパーティでの撮影に適しています。

ビーチ : 浜辺の強い日差しのもとでの撮影に適しています。

高感度 : ISO400に設定します。



● すべての撮影条件での動作を保証するものではありません。



静止画モード

画像サイズ (初期設定: 12M)

画像サイズを選択します。

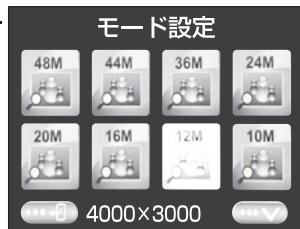
1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上/下または右/左ボタンを押して「画像サイズ」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上/下または右/左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

48M(補間)	: (8000×6000)
44M(補間)	: (7600×5800)
36M(補間)	: (7936×4480)
24M(補間)	: (5600×4200)
20M(補間)	: (5200×3900)
16M(補間)	: (4608×3456)
12M(補間)	: (4000×3000)
10M(補間)	: (3648×2736)
7M-WideM(補間)	: (3648×2048)
5M	: (2592×1944)
3M	: (2048×1536)
2M-Wide	: (1920×1080)

2.



3.



- 補間とは、ある既知の数値データを基にして、既知データ間の値を埋めるものです。
- サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、撮影可能枚数が少なくなります。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

美肌 (初期設定: オフ)

美肌モードを設定します。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「美肌」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オン： 美肌モードを有効にします

オフ： 美肌モードを無効にします。



- 美肌モードをオンにするとそれまでのモード設定(夜景、スポーツなど)の設定が無効になり、美肌モードをオフするとモード設定が「P」にリセットされます。



静止画モード

》 連写モード (初期設定: オフ)

1枚撮影と連写撮影(約1秒間に3枚撮影)のいずれかを選択します。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上/下または右/左ボタンを押して「撮影モード」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
1枚: 1コマ撮影を選択します。
連写: 連写モードを選択します。



- モード切替えを行うと設定はオフになります。
- 電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

》 セルフタイマー（初期設定：オフ）

セルフタイマーを設定します。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「セルフタイマー」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 詳細についてはP.35「セルフタイマー」を参照ください。



- モード切替えを行うと設定はオフになります。
- 電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

露出 (初期設定: オフ)

手動で露出値を変更する場合に使用します。
被写体の撮影結果が暗く潰れる場合は+ (明るく) 補正し、
明るすぎる場合には- (暗く) 補正します。
露出値は、-3.0 ~ +3.0 (1EVステップ) の間で
調整することができます。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上/下または右/左ボタンを押して「露出」を選択し、
OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上/下または右/左ボタンを押して補正値を選択し、
OKボタンを押します。



- 電源をオフにすると設定は「0」に戻ります。



静止画モード

▶▶ ホワイトバランス (初期設定：オート)

様々な被写体周辺の状況に応じて
ホワイトバランスを調整し、希望の色調に近づけます。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「ホワイトバランス」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／下または右／左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オート：自動で調整します。

昼光：屋外の晴天時での撮影に適しています。

曇り：屋外の曇天時、日陰での撮影に適しています。

蛍光灯：室内の蛍光灯下での撮影に適しています。

電球：室内の白熱灯下での撮影に適しています。

2.



3.





静止画モード

画質（初期設定：スーパーファイン）

撮影する静止画の画質を設定します。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「画質」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

スーパーファイン：最高画質

ファイン：高画質

ノーマル：標準画質



- 高画質なほど鮮明ですが、データ容量も大きくなり、撮影可能枚数が少なくなります。
- 静止画のみの機能です。



静止画モード

シャープネス (初期設定: ノーマル)

撮影する静止画のコントラストを設定します。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「シャープネス」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

シャープ : シャープな画質になります。

ノーマル : 標準画質になります。

ソフト : ソフトな画質になります。



● 静止画のみの機能です。



静止画モード

▶▶ 効果 (初期設定: ノーマル)

撮影する静止画に効果を加えることで、印象の異なる写真にします。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「効果」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／下または右／左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

- | | |
|--------|------------------------|
| ノーマル | : 効果を加えません。 |
| 白黒 | : 白黒画像にします。 |
| セピア | : セピア画像にします。 |
| レッド | : 赤色フィルターののような効果を加えます。 |
| グリーン | : 緑色フィルターののような効果を加えます。 |
| ブルー | : 青色フィルターののような効果を加えます。 |
| 夕日 | : 夕焼けののような効果を加えます。 |
| 暖色 | : 温かみのある効果を加えます。 |
| 寒色 | : 青みを帯びた効果を加えます。 |
| 露出オーバー | : 露出をプラス補正した効果を加えます。 |
| IR | : 赤外線撮影風の効果を加えます。 |



●次ページへ続く



静止画モード

●前ページより続き

- バイナリ : 白黒2値での画像にします。
- ビビット : 色彩を強調した画像にします。
- 低彩度 : 色彩を抑えた画像にします。
- LOMO : 白黒で四隅の暗い画像にします。
- ネガ : ネガフィルムのような画像にします。



静止画モード

》 ISO感度 (初期設定: オート)

撮影時の感度を設定します。

感度を上げると暗い場所での撮影も可能になりますが、ノイズが増え、画質が低下します。感度を下げると、ノイズが少なくなめらかな画質を得ることができますが、多くの光量が必要となります。

1. メニューボタン(Ⓜ)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「ISO感度」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

ISO AUTO : 自動で調整します。

ISO 100 : 屋外の晴天時での撮影に適しています。

ISO 200 : 屋外の曇天時、または明るい室内での撮影に適しています。

ISO 400 : 屋外の曇天時、または光量が少ない室内で
内蔵LEDを発光して撮影する場合に適しています。



- 上記説明はあくまでも目安です。撮影結果を確認しながら、撮影状況に合わせて設定してください。
- 電源をオフすると設定は「AUTO」に戻ります。



静止画モード

手ぶれ軽減 (初期設定: オン)

静止画撮影時の手ブレを軽減します。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「手振れ軽減」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オン：手振れ軽減を有効にします。

オフ：手ぶれ軽減を無効にします。



● 静止画のみの機能です。



静止画モード

顔検出 (初期設定: オン)

顔を認識します。自動でシャッターはおりません。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「顔検出」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
オン： 顔検出を有効にします。
オフ： 顔検出を無効にします。
4. 液晶中心以外に顔がある場合、
顔が液晶中心になるようにした状態でシャッターを半押しします。
半押しのままご希望の構図にしてシャッターを全押ししてください。



- すべての条件で動作を保証するものではありません。
- 静止画のみの機能です。
- スマイルショットをオンにすると顔検出も連動してオンになります。



静止画モード

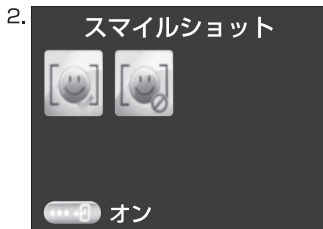
☞ スマイルショット (初期設定: オフ)

笑顔を認識すると、自動的にシャッターがおります。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「スマイルショット」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オン：スマイルショットを有効にします。

オフ：スマイルショットを無効にします。

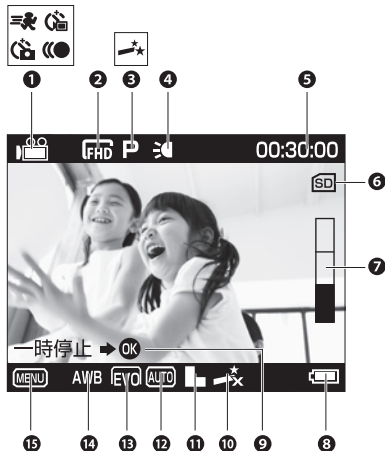


- すべての条件で動作を保証するものではありません。
- 静止画のみの機能です。
- 電源をオフにすると設定はオフに戻ります。



動画モード

▶ 動画撮影モードの 液晶モニター表示



	現在の撮影モード(動画モード)を表示します。
	動き検出 動き検出モードを表示しています。P.59参照
①	タイムラプスビデオ タイムラプスビデオモードを表示しています。P.64参照
	インターバル撮影 インターバル撮影モードを表示しています。P.66参照
	スローモーション スローモーションモードを表示しています。P.68参照
②	ビデオサイズ 現在の動画サイズ設定を表示しています。P.57参照
	モード設定 現在の撮影モードを表示します。P.38参照
③	美肌 美肌モードを選択していることを表示しています。P.40参照
④	内蔵LEDライト 内蔵LEDライトが点灯されていることを表示しています。P.34参照
⑤ 00:30:00	動画撮影可能時間
⑥	メモリーカード挿入を表示しています。P.24参照
⑦	ズームインジケーター ズーム領域を表示します。P.33参照
⑧	電池残容量 電池残量を表示します。P.18参照
⑨	動画撮影一時停止／録画スタート P.54参照
⑩	効果 撮影する動画に各種の効果を加えます。P.47参照
⑪	シャープネス 撮影画像のシャープネス設定を表示しています。P.69参照
⑫	ISO 現在のISO感度を表示しています。P.69参照
⑬	露出 現在の露出補正設定を表示しています。P.69参照
⑭	ホワイトバランス 現在のホワイトバランス設定を表示しています。P.69参照
⑮	メニューアイコン



動画モード

▶ 動画の撮影

動画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターで被写体を捉えます。
必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
3. シャッターボタンを押して撮影を開始します。
4. OKボタンを押すと、撮影を一時停止します。
再度OKボタンを押すと、撮影を再開します。
5. シャッターボタンを押すと撮影を終了し、撮影画面に戻ります。



- 1ファイルの最大容量は4GBです。
- メモリー残容量が無くなると、カメラは自動的に撮影を終了します。
- 動画撮影中および一時停止中は、省電力機能は作動しません。



動画モード

▶ ズーム撮影

P.33「ズーム撮影」(静止画モード)をご覧ください。

▶ 内蔵LEDライト撮影

P.34「内蔵LEDの設定」(静止画モード)をご覧ください。

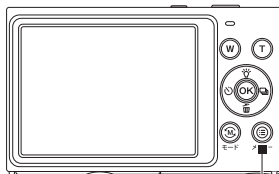


動画モード

▶ 動画撮影メニュー

動画撮影時の設定をします。

1. メニューボタン(Ⓜ)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押しして項目を選択し、OKボタンを押し、サブメニューを表示します。
3. 上／下または右／左ボタンを押し、いずれかを選択し、OKボタンを押します。
4. 動画撮影モードに戻ります。



メニューボタン



▶▶ モード設定 (初期設定: オート)

P.38「モード設定」(静止画モード)をご覧ください。



動画モード

▶▶ ビデオサイズ (初期設定: Full-HD)

撮影する動画サイズを設定します。

1. メニューボタン(≡)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「ビデオサイズ」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
2.7K : 2688×1520
Full-HD : 1920×1080
HD : 1280×720
VGA : 640×480

2.



3.



- サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、撮影時間が少なくなります。



動画モード

》ビデオ

ビデオの設定をします。

1. メニューボタン(☰)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「ビデオ」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／下または右／左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

ノーマル

動き検出 : (P.59参照)

タイムラプスビデオ : (P.64参照)

インターバル撮影 : (P.66参照)

スローモーション : (P.68参照)





動画モード

▶ 動き検出

本機の前で動いたものを検出し動画撮影をします。

1. 上／下または右／左ボタンを押して「動き検出」を選択し、OKボタンを押します。
2. 液晶モニター左上に「動き検出」アイコンが緑表示されます。
3. シャッターボタンを押します。
「動き検出」アイコンが赤表示され待機状態になります。
4. 動き検出を終了するにはシャッターボタンを押します。
録画されたファイルは個別に保存されます。



- モード切替えを行うと動き検出設定はオフになります。
- 電源をオフにした場合、動き検出の設定はオフになります。
- 動きの大きさ、動くものまでの距離によっては検出されない場合もあります。



動画モード

▶▶ タイムラプス設定

タイムラプスビデオ／インターバル撮影するときの条件を設定します。

1. メニューボタン(⊕)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して
「タイムラプス設定」を選択し、
OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
OKボタンを押します。

画像サイズ：撮影する動画サイズを設定します。

インターバル撮影の画像サイズは
静止画撮影で設定した画像サイズになります。

時間：撮影開始時間・停止時間を設定します。

間隔：撮影する間隔を設定します。

●次ページへ続く





動画モード

映像サイズの設定

タイムラプスビデオの画像サイズを設定します。

1. 「画像サイズ」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

3M : (2048×1536)

5M : (2592×1944)

10M(補間) : (3648×2736)



- ここで設定できる画像サイズはタイムラプスビデオの画像サイズだけです。インターバル撮影の画像サイズは静止画撮影で設定した画像サイズとなります。



動画モード

》 時間の設定

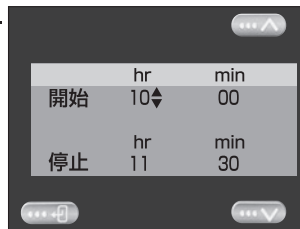
タイムラプスビデオ／インターバル撮影の撮影時刻を設定します。
初期値のままだとシャッターを押したときからもう一度シャッターを押すまでの間撮影します。
初期値から時間を変更すると指定した時刻で予約撮影する事が出来ます。

1. 「時間」を選択し、
OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. 「開始時刻」を設定します。
右または左ボタンを押して
設定する項目(例えば時→分)に移動します。
選択されている項目は赤字表示されます。
3. 上または下ボタンで数値を調整します。
4. 右ボタンを押して停止時刻に移動します
5. 上または下ボタンを押して「停止時刻」を設定します。
2. 3.と同様に数値を調整します。
6. すべての数値の調整が終わりましたら、
OKボタンを押して決定します。
動画撮影画面に戻ります。

1.



2.



- P.28「日時の設定」はできるだけ正確に設定してください。
タイムラプス機能は日付／時刻の値が反映されます。
設定できる最大の長さは 23時間59分です。

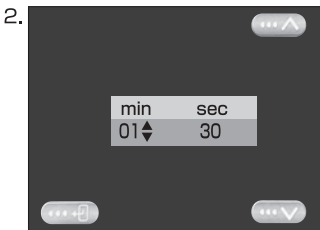


動画モード

▶▶ 間隔の設定

タイムラプスビデオ／インターバル撮影の間隔を設定します。

1. 「間隔」を選択し、
OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. 「間隔」を設定します。
右または左ボタンを押して設定
する項目(例えばmin→sec)に移動します。
選択されている項目は赤文字表示されます。
3. 上または下ボタンで数値を調整します。
例えば、min=01、sec=30で設定すると
1分30秒間隔で撮影を行います。
4. すべての数値の調整が完了したら、
OKボタンを押して決定します。
動画撮影画面に戻ります。



- 最大撮影間隔は59分59秒です。



動画モード

▶ タイムラプスビデオ

一定間隔で撮影した画像を動画ファイルで保存します。
事前に「タイムラプスビデオ」の撮影条件を設定します。

P.61「画像サイズ」

P.62「時間」

P.63「間隔」

1. メニューボタン(Ⓜ)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して
「ビデオ」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して「タイムラプスビデオ」を選択し、
OKボタンを押します。
4. 液晶画面左上に
緑の「タイムラプスビデオ」アイコンが表示されます。
5. シャッターボタンを押します。
アイコンと5秒前からカウントダウン表示を行い
液晶モニターがオフになります。
6. 「タイムラプスビデオ」撮影を終了するには、
撮影中に電源ボタンを押します。
液晶表示がオンになり、静止画モードに切り替わります。
「タイムラプスビデオ」を終了すると動画ファイルが保存されます。

●次ページへ続く





動画モード

●前ページより続き



- 「タイムラプスビデオ」撮影中は電池の消費を抑えるため、液晶モニター、LEDインジケータともに消灯します。
- 「タイムラプス設定」の設定条件は、電源を入れなおしても、保持されます。
- 撮影開始が時間設定の開始時刻と終了時刻内の間であれば、シャッターを押すとすぐに撮影開始されます。



- ◆「タイムラプスビデオ」の撮影時間が長時間におよぶ場合、充電電池の残量、microSDメモリーカードの残量により撮影を終了する場合があります。



動画モード

▶ インターバル撮影

一定間隔で撮影した画像を静止画ファイルで保存します。
事前に「インターバル撮影」の撮影条件を設定します。

P.39「画像サイズ」(静止画モード)

P.62「時間」

P.63「間隔」

1. メニューボタン(Ⓜ)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「ビデオ」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して「インターバル撮影」を選択し、OKボタンを押します。
4. 液晶画面左上に
緑の「インターバル撮影」(📷)アイコンが表示されます。
5. シャッターボタンを押します。
(📷)アイコンと5秒前からカウントダウン表示を行い
液晶モニターがオフになります。
6. 「インターバル撮影」を終了するには、
撮影中に電源ボタンを押します。
液晶表示がオンになり、静止画モードに切り替わります。
「インターバル撮影」を終了すると静止画ファイルが保存されます。

●次ページへ続く





動画モード

●前ページより続き



- 「インターバル撮影」撮影中は電池の消費を抑えるため、液晶モニター、LEDインジケータともに消灯します。
- インターバル撮影の条件設定後、電源を入れなおしても、設定値は保持されます。



- ◆インターバル撮影が長時間におよぶ場合、充電池の残量、microSDメモリーカードの残量により撮影を終了する場合があります。

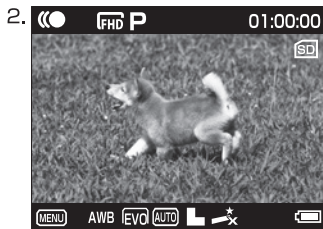


動画モード

▶▶ スローモーション

スローモーション撮影をします。

1. メニューボタン(Ⓜ)を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上／下または右／左ボタンを押して「ビデオ」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上／下または右／左ボタンを押して「スローモーション」を選択し、OKボタンを押します。
4. 液晶モニター左上に「スローモーション」アイコンが緑表示されます。
5. シャッターボタンを押して撮影を開始します。
6. OKボタンを押すと、撮影を一時停止します。再度OKボタンを押すと、撮影を開始します。
7. シャッターボタンを押すと撮影を終了し、スローモーション撮影画面に戻ります。



- 電源をオフにした場合、スローモーション設定はオフになります。



動画モード

美肌 (初期設定: オフ)

P.40「美肌」(静止画モード)をご覧ください。

露出 (初期設定: オフ)

P.43「露出」(静止画モード)をご覧ください。

ホワイトバランス (初期設定: オート)

P.44「ホワイトバランス」(静止画モード)をご覧ください。

シャープネス (初期設定: ノーマル)

P.46「シャープネス」(静止画モード)をご覧ください。

効果 (初期設定: ノーマル)

P.47「効果」(静止画モード)をご覧ください。

ISO感度 (初期設定: オート)

P.49「ISO感度」(静止画モード)をご覧ください。



再生モード

再生モード

モードボタン (M) を押して「再生モード」にします。

最後に撮影されたファイルが液晶モニターに表示されます。

液晶モニター左上に、静止画ファイル、インターバル撮影ファイルは [▶] アイコン、動画ファイル、タイムラプスビデオファイル、スローモーションファイルは [🎞️] アイコンが表示されます。右または左ボタンを押して再生するファイルを選択します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタン (M) を押して「再生モード」にします。
3. 左または右ボタンを押して、再生したいファイルを選択します。

静止画ファイルアイコン



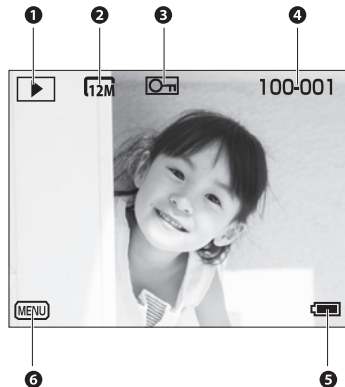
動画ファイルアイコン





再生モード

▶ 静止画再生モードの液晶モニター表示



①		現在の再生モード(静止画)を表示します。
②		静止画サイズ 撮影された静止画サイズを表示しています。
③		保護 選択されたファイルを保護します。P79参照
④	100-001	フォルダ番号 - ファイル番号
⑤		電池残容量 電池残量を表示します。
⑥		メニュー



再生モード

再生ズーム

静止画ファイルの表示中、画像を拡大表示することができます。

1. 静止画ファイルを表示します。
2. Tボタン押すと拡大表示、
Wボタンを押すと縮小表示。
液晶モニター左下に上／下／左／右アイコン◀▶が
表示されます。
3. 上／下または左／右ボタンを押して、
拡大表示範囲を移動します。
4. OKボタンを押すと、通常表示に戻ります。



上／下／左／右アイコン



● 静止画ファイルのみの機能です。



再生モード

サムネイル表示

9分割のサムネイル表示に切り替えます。
ファイルを素早く探すことができ、大変便利な機能です。

1. 静止画ファイルを表示します。
2. Wボタンを長押しすると
9分割のサムネイル表示に切り替わります。
3. 上／下または右／左ボタンを押して、
ファイルの選択(赤枠)を移動します。
4. OKボタンを押すと、
選択したファイルが全画面表示になります。





再生モード

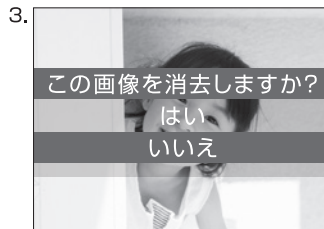
クイック消去

記録したファイルを消去します。

1. 消去したいファイルを表示します。
2. 下ボタンを押します。
下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
3. はい : 表示中のファイルを削除します。
いいえ : 表示中のファイルを削除しません。
4. OKボタンを押すと静止画再生表示に戻ります。



下ボタン／クイック消去



- 消去したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。
- プロテクト(保護)されたファイルは消去できません。



再生モード

▶ 動画再生モードの液晶モニター表示



1		現在の再生モード(動画)を表示します。
2		動画サイズ 撮影された動画サイズを表示しています。
3		保護 選択されたファイルを保護します。P79参照
4	100-070	フォルダ番号 - ファイル番号
	00:00:10	動画再生時間
5		電池残容量 電池残量を表示します。
6	00:01:08	動画ファイルの長さ
7		再生アイコン
		動画再生中動画に表示します。
8		シャッターボタンを押すと動画再生 / 停止します。
		一時停止
9		一時停止 / 再生
		メニュー
10		音量



再生モード

▶ 動画ファイルの再生

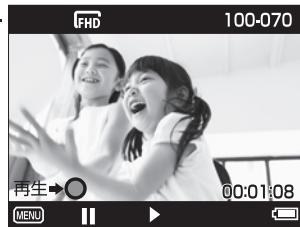
動画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. 動画ファイルを表示します。
2. シャッターボタンを押すと再生を開始します。
3. Tボタン(Ⓣ)を押すと、音声が大きくなります。
Wボタン(Ⓜ)を押すと、音声が小さくなります。
4. 再生中、OKボタンを押すと一時停止します。
再度、OKボタンを押すと再生開始します。
5. 再生中、上ボタンを一度押すと2倍速早送り再生し、
二度押すと4倍速早送り再生します。
下ボタンを一度押すと2倍速で早戻し再生し、
二度押すと4倍速で早戻し再生します。
OKボタンを押すと一時停止し、再度OKボタンを押すと通常再生に戻ります。
6. シャッターボタンを押すと再生を停止し、ファイルの先頭部分に戻ります。



● 一時停止中・早送り／早戻し中は、消音します。

1.



動画再生中

▶ クイック消去

P.74「クイック消去」をご覧ください。



再生モード

再生メニュー

再生メニューモードの様々な設定を行います。

1. モードボタン (M) を押して「再生モード」にします。
最後に撮影されたファイルが液晶モニターに表示されます。
2. 右または左ボタンを押して、
再生メニューで設定するファイルを選択します。





再生モード

削除

記録したファイルを削除します。

1. 「削除」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. 下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

この画像 : 表示されたファイルを1枚削除します。
この動画

全て : 全てのファイルを削除します。

3. ☒ 「はい」を選択すると削除します。
☒ 「いいえ」を選択すると削除されず、再生モードに戻ります。



- 削除したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。
- 保護されている記録ファイルは削除されません。



再生モード

▶▶ 保護

撮影したファイルの誤消去を防ぐために保護します。

1. 「保護」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。

2. 下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

保護 : 表示されたファイルを保護します。

解除 : 保護されたファイルの保護を解除します。

全部を保護 : 全てのファイルを保護します。

全部を解除 : 保護された全てのファイルの保護を解除します。 2.



- 保護されたファイルには液晶モニターに「」アイコンが表示されます。
- フォーマットすると保護されたファイルも消去されます。



再生モード

▶▶ スライドショー

microSDメモリーカードに記録されている全ての静止画を、一定の間隔で表示します。

1. 「スライドショー」を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
2. 下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
 - 3 Sec : ファイルの表示間隔を3秒に設定します。
 - 5 Sec : ファイルの表示間隔を5秒に設定します。
 - 10 Sec : ファイルの表示間隔を10秒に設定します。
3. スライドショーを開始します。
スライドショー中に上ボタンを押すと、スライドショーを終了します。



● 静止画のみの機能です。動画は表示しません。



設定モード

設定メニュー

カメラの様々な設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタン (M) を押して「設定モード」にします。
3. 上／下または右／左ボタンを押して、各項目を選択し、サブメニューを表示します。

2.



言語 (初期設定: 日本語)

P.30「言語の設定」をご覧ください。

日時

P.28「日時の設定」をご覧ください。



設定モード

省電力(初期設定: オフ)

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のため、カメラの電源が自動的にオフになります。

1. 「電源オフ」を選択します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
オフ : 自動的にオフしません。
1Min : 1分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。
3Min : 3分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。
5Min : 5分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。
3. 設定モード画面に戻ります。



● USB充電器を接続している時は本機能は無効です。



設定モード

▶▶ 操作音 (初期設定: オン)

カメラの操作に関する操作音を設定します。

1. 「操作音」を選択します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 - ✓ オン: 操作音を有効にします。
 - ⊗ オフ: 操作音を無効にします。
3. 設定モード画面に戻ります。





設定モード

フリッカー低減(初期設定: 50Hz)

撮影地域によって、正しい電源周波数を選択し、
蛍光灯のチラツキを抑制します。

1. 「フリッカー低減」を選択します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
OKボタンを押して決定します。
50Hz: 主に東日本
60Hz: 主に西日本
3. 設定モード画面に戻ります。



- 日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。
静岡県の富士川から新潟県の糸魚川あたりを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。



設定モード

》フォーマット

メモリーカードをフォーマット(初期化)する機能です。
P.26「microSDメモリーカードのフォーマット」をご覧ください。

》リセット

カメラの設定を工場出荷の状態に戻します。

1. 「リセット」を選択します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
はい : 初期設定に戻します。
いいえ : 初期設定に戻しません。
3. 設定モードに戻ります。



- リセットしても日付／時刻はリセットされません。
- リセットすると、カメラの言語表示が日本語に戻ります。



パソコンとの接続

パソコンとの接続

カメラとパソコンを接続します。

1. カメラの電源をオンにします。

付属USBケーブルのUSBプラグ(大きい方)をパソコンに接続し、Type-Cプラグ(小さい方)をカメラに接続します。

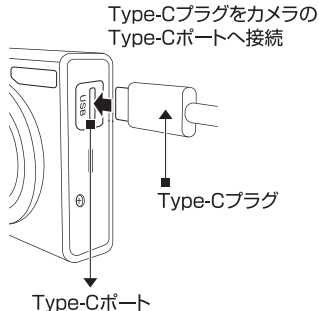
モード設定

パソコンと接続するモードを選択します。

1. 液晶モニターに「MSDC」「PC Camera」が表示されます。
上または下ボタンを押していずれかを選択し、OKボタンを押します。



●次ページに続く





パソコンとの接続

●前ページより続き

▶▶ MSDC

パソコンと接続し、カメラの記録ファイルをパソコンで確認したりパソコンに取り込むためのものです。

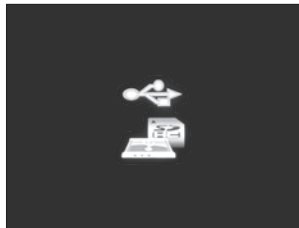
1. カメラの液晶モニターにUSB接続のアイコンが表示されます。
〈Windowsで使用する場合〉
 - マイコンピュータに「リムーバブルディスク」として認識されます。
2. Windowsの場合、記録ファイルは、
「PC」→「USBドライブ」→「DCIM」→「100MEDIA」などにあります。
3. 終了する場合は、各OSに適した方法で
安全に付属のUSBケーブルを外してください。

▶▶ データを保存

〈Windowsで使用する場合〉

本製品をパソコンのUSBポートに接続すると、マイコンピュータに「リムーバブルディスク」として認識されますのでカメラのデータをパソコンに取り込むことができます。

1.



パソコン接続中の液晶画面表示



●お使いのパソコンのOS・バージョン等により表示は異なります。



パソコンとの接続

転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。

- ◆ [リムーバブルディスク]からコピーしている際(画像取り込み時)は、USBケーブル、メモリーカードを絶対に抜かないでください。メモリーカードが破損する恐れがあります。
- ◆ [リムーバブルディスク]内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- ◆ [リムーバブルディスク]内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。
カメラの動作が不安定になる原因になります。
- ◆ [リムーバブルディスク]をパソコンでフォーマットしないでください。
- ◆ [DCIM] フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

ファイル名について

ファイル名は「DSCF」で始まり、連番の4桁の数字が後に付きます。新しいフォルダのファイル番号は0001から始まります。ファイル番号が999を越える場合、新しいフォルダが作成されます。

- ◆ パソコン上でメモリーカード内のフォルダ名及びファイル名を変更しないでください。
カメラでファイルを再生できない可能性があります。



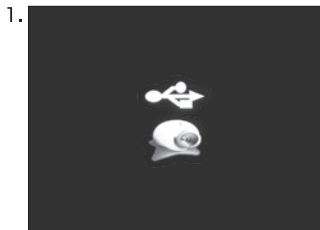
パソコンとの接続

▶ PC Camera

パソコンと接続してWEBカメラとしても使用できます。
はじめにデータ保護のため、
microSDメモリーカードを取り外してください。

※例:Windows 10の場合

1. カメラとPCを付属USBケーブルで接続します。
電源ボタンを押します。
上／下ボタンでPC Cameraを選択しOKボタンを押します。
液晶が右図のようになります。
2. Windowsのスタートボタンをクリックし、
「カメラ」アプリを起動します。
アプリ画面右上のカメラの変更アイコン(丸枠内)で
「USB CAMERA」に切り替えます。
3. 「カメラ」アプリ上に本機の画像が表示されます。
4. WEBカメラを終了するには
そのままUSBケーブルを外します。
同時にカメラの電源はオフになります。



パソコン接続中の液晶画面表示





故障かな?と思ったら

[症状] 電源が入らない

[原因] 充電電池の取り付け方向が間違っている可能性があります。

[対策] 充電電池の ⊕ ⊖ を確認し、正しい方向でセットしてください。(P.16参照)

[原因] 電池残量が不足している可能性があります。

[対策] 充電電池を充電してください。(P.17参照)

[症状] 電池またはカメラが熱を持っている

[原因] カメラの連続使用または内蔵LEDライトによるもので異常ではありません。

[症状] 電源を入れるとすぐ切れる

[原因] 電池残量が不足している可能性があります。

[対策] 充電電池を充電してください。(P.17参照)

[症状] シャッターボタンを押しても写真が撮れない。

[原因] シャッターボタンが完全に押されていない可能性があります。

[対策] シャッターボタンを完全に押し込んでください。

[原因] microSDメモリーカードの容量がいっぱいになっている可能性があります。

[対策] 新しいmicroSDメモリーカードを使用するか、不要なファイルを消去してください。(P.74、P.78参照)



故障かな?と思ったら

[症状] シャッターボタンを押しても写真が撮れない。

[原因] microSDメモリーカードが正しくフォーマットされていない可能性があります。

[対策] フォーマットできない場合、microSDメモリーカードを交換してください。

[症状] ピントが合わない

[原因] レンズが汚れている可能性があります。

[対策] レンズペーパーか柔らかく乾いた布でレンズを拭いてください。

[症状] ファイルが削除できない

[原因] ファイルが保護されている可能性があります。

[対策] 保護を解除してください。(P.79参照)

[症状] ファイルをダウンロードできない

[原因] お使いのパソコンのハードディスクの空き容量が不足している可能性があります。

[対策] パソコンのハードディスクの空き容量をご確認ください。

[原因] カメラの電源が入っていない可能性があります。

[対策] カメラの電源を入れてください。



記録可能枚数／時間の目安

静止画

microSDHCメモリーカード 4GB スピードクラス4の場合

静止画サイズ	画 質		
	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
48M(補間)	275	393	579
44M(補間)	294	420	619
36M(補間)	493	704	1038
24M(補間)	561	802	1182
20M(補間)	651	930	1371
16M(補間)	829	1184	1745
12M(補間)	1100	1572	2317
10M(補間)	1323	1890	2786
7M-Wide(補間)	2362	3374	4973
5M	2621	3745	5519
3M	4198	5998	8843
2M-Wide	8494	12147	17912



記録可能枚数／時間の目安

▶ 動画

microSDHCメモリーカード 4GB スピードクラス4の場合

動画サイズ	記録可能時間
2.7K	約14分
Full-HD	約15分
HD	約26分
VGA	約44分



- 撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定ではないため、記録可能枚数／時間に差がでます。静止画・動画ともに目安としてご参考ください。
- 記録可能枚数／時間に達する前に電池がなくなる場合がございます。



仕様

仕様

イメージセンサー	1/3.2型 CMOS
総画素数	833万画素
有効画素数	約800万画素
レンズ	f=3.37mm F2.2
焦点距離 (35mmフィルム換算)	25.5mm
ズーム	デジタル4倍
撮影距離	静止画: 約0.1m~∞ 動画: 約1.5m~∞
液晶モニター	2.8型 IPS
外部メモリー※1	microSDHCメモリーカード(スピードクラス4~10): 4~32GB(別売) microSDXCメモリーカード(スピードクラス10): 64~128GB(別売)
ファイル形式	静止画: JPG 動画: MJPEG(AVI) 音声: PCM
静止画サイズ	48M(補間)、44M(補間)、36M(補間)、24M(補間)、20M(補間)、 16M(補間)、12M(補間)、10M(補間)、7M-Wide(補間)、5M、3M、2M-Wide
動画サイズ	2688×1520 30fps、1920×1080 30fps、1280×720 30fps、 640×480 30fps



仕様

シャッタースピード	1/8000秒～1/15秒
ISO感度	オート、100、200、400
セルフタイマー	オフ、2秒、5秒、10秒
内蔵ライト	LED
露出補正	±3EV 1EVステップ
ホワイトバランス	オート、昼光、曇り、蛍光灯、電球
手振れ軽減機能	電子式
電源	リチウムイオン充電電池 NP-6L
入出力ポート	USB2.0
DPOFプリント	非該当
ダイレクトプリント	非該当
寸法	約95×58×23mm
重量	約101g(付属品、充電電池を含まず)
	約119g(充電電池、メモリーカードを含む参考値)

※1. すべてのmicroSDHC／SDXCメモリーカードで動作を保証するものではありません。

※2. USB充電器は、別売：Type-A出力、1ポートDC5V 2A以上のものを使用してください。

セット内容：カメラ本体、リチウムイオン充電電池、ストラップ、USBケーブル(Type-A to Type-C)、取扱説明書



パソコンとの接続

必要なパソコン動作環境

カメラとパソコンをUSB接続にて使用する場合、以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- 下記OSがプリインストールされたパソコン

Windows
Windows8(32/64bit)～11

動作保証について

- 動作環境は最低限の条件を満たした仕様です。ご使用のOSに対応した動作環境が必要になります。
 - 動作環境を満たすパソコンの中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
 - 各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。
 - USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。
- microSDHC／SDXCメモリーカードによっては使用できないものがあります。
- 記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
- 仕様や外観は製品改良等のため予告なく変更をする場合もありますのでご了承ください。



保証規定

保証期間：お買い上げ日より1年

- (1)修理の際は必ずお買い上げ店舗のレシートを添付のうえ、ご購入店またはケンコー・トキナー お客様相談室までお申し付けください。
- (2)お買い上げ店舗のレシートの添付なき場合は有料修理となります。
- (3)正常な取り扱い中に故障を生じた場合以外には有料修理となります。
(下記①～⑧など)
①取扱いの乱用、使用法の誤りによる故障 ②保存上の不備のため湿度などによって生じた故障 ③火災や浸水・天災によって生じた故障 ④当社以外の場所にての修理・改造・分解による故障 ⑤その他類似的起因による故障 ⑥消耗品(LED・充電池等)のお取り替え ⑦落下、衝撃、砂、泥かぶり、冠水・浸水などによる故障 ⑧個人売買およびオークションなどでご購入の場合
- (4)ご購入年月日・ご購入店名のなきものは無効です。
- (5)レシートは大切に保管してください。
- (6)修理品に送料、交通費等が掛った場合はお客様にてご負担願います。
- (7)当社製品を使用して付随製品が故障した際の保証は致しません。
- (8)出張による点検・修理・取扱説明・設定等には無償・有償を問わず対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- (9)本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- (10)本保証は保証規定により無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 【お願い】
修理に関しましては修理箇所、内容を明確にご指示ください。

■個人情報について

※本保証を通じてお客様からご提供いただいた個人情報を、修理完了後、速やかに廃棄いたします。

※ご協力いただきました記入事項につきましては、ご提供いただきました個人情報のうち、年齢・性別等個人を識別、あるいは特定できない情報と関連付け、統計的データに加工して利用する場合があります。

※当社は、お客様の個人情報を第三者へ開示いたしません。但し、以下の場合を除きます。

- お客様の承諾を得た場合。
- お客様の明示した利用目的の達成に必要な範囲内において、業務委託先に個人情報を開示する場合。但し、この場合に当社は、法令上、個人情報の安全管理が図れるよう、当該業務委託先に対して必要かつ適切な監督義務を負います。

発売元：株式会社 **ケンコー・トキナー**

〒164-8616 東京都中野区中野5-68-10 KT中野ビル

ケンコー・トキナーホームページ <https://www.kenko-tokina.co.jp/>



製品に関するお問い合わせ

製品について詳しくはコチラ



お客様お問合せフォームはこちらの**QRコード**から。
パソコンからは、
「**ケンコー・トキナーお問い合わせ**」で検索。

ケンコー・トキナーお客様相談室



0120-775-818

携帯・IP電話からは

03-6840-3389 ※通話料金がかかります。

受付時間：月～金 9:15～17:30(土、日、祝日、年末年始等を除く)

お願い 本機の廃棄方法は、お住まいの市町村の方法に従ってください。

